

▼産業建設常任委員会 審査（5件）

※は賛否が分かれたもの

番 号	件 名	議決結果
陳情第7号	生活道の整備・改良に関する陳情書	不採択 ※
陳情第16号	市道泉沢酒時線の一部区間への歩道設置に関する陳情書	採 択
陳情第17号	もみ殻の処理に関する陳情	採 択
陳情第18号	市道上角間山神南線の改良工事及び除排雪に関する陳情	採 択
陳情第20号	愛宕町三丁目2番地地内、道路の側溝改修に関する陳情書	採 択

陳情に対して討論が行われました

陳情第7号 生活道の整備・改良に関する陳情書に対する討論の要旨

では、重要な性を否定するものではない。

なお、生活道などインフラ整備対策そのものの必要性・重要性を否定するものではない。

状況を確認したところ、冬期間の除雪体制も丁寧に対応していることや、地域内での交通や通学についても安全面で支障がないこと、また新たな道路整備については、人命に関わるような緊急的な必要性が無いことなどの理由により不採択すべきと判断した。

現状の道路については、行き止まりの法定外道路、いわゆる赤道でアスファルト舗装となっている。陳情の内容は法定外道路の行き止まりの解消を含めた生活道の整備として、約150メートルの道路整備を求めるものであった。

産業建設常任委員会として陳情者ならびに建設課の立ち合いを求め現地確認を行い、この事業に向けた考え方などの説明を受け、慎重に審査を行った。

高橋 肇 議員

反 対

市民が安全で安心な最低限の暮らしができるインフラ整備を推進していただきたい。

このことからも、地域住民が安全で安心な最低限の暮らしができるインフラ整備を優先していただきたいの切実なお願いである。

このような状況の中、八面第三集落内の冬場の除雪作業についても、高齢化で年々困難な状況であり、この地域のインフラ整備を推進することにより、緊急時の対応も可能となり、利便性が良くなることで若者が地域に残る可能性も高くなる。陳情は、このことにも触れた願いである。

このことからも、地域住民が安全で安心な最低限の暮らしができるインフラ整備を優先していただきたいの切実なお願いである。

このたびの陳情は、高齢化が著しく進む集落内の生活道路について、道路幅が2メートルから3メートルと狭隘であるため、緊急車両の運行が困難な状況であり、地域住民は不安を抱えている。

沓澤 正雄 議員

賛 成

賛否一覧表

採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。

議長は採決に加わりません。 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席 除：除斥

会派名	湯 和 会 ・ 公 明								政 和 会						湯沢政策研究会		議決結果		
	1	2	9	10	11	12	17	18	7	8	13	14	15	16	5	6			3
議員名	兼子正寛	高橋健	柏原久寿	高橋肇	佐藤愛子	高橋達	渡部正明	佐藤功平	寺田純二	小田嶋秋一	加藤昭嗣	石川隆一	高橋克己	沓澤正雄	藤田健志	大山豪	宮原晃	佐藤勝	
陳情第7号	×	×	×	×	×	×	／	×	退	○	退	×	○	○	×	×	×	×	不採択

※陳情第7号 生活道の整備・改良に関する陳情書